

稲 グ リ 新 聞

〈発行〉
早大グリーンクラブOB会
稲門グリーンクラブ
〈編集〉
富永 信二 監修
頼原 信二 編集
佐々木 豊 編集
160新宿区百人町3-8-11
頼原方 ☎03(360)3336
(毎月1回発行)

秋のジョイントは「ボニー十稲グリ」に決定!

幹事会

七月のOB四連後のビッグイベントとしてその内容が検討されてきた「ジョイント・コンサート」(十一月一日(日)千駄ヶ谷・日本青年館)はボニー・ジャックスとの共演でということに決定した。これまで、他合唱団との可能性を検討してきたが、この際、稲グリ定演の度にボニーの皆さんの好意に甘えていたことに何分の一かてもお返しができればということと幹

事会の意見が一致し決定をみたもの。「ジョイ・コン」のステージ構成は、稲グリ・ステージ、ボニー・ステージ、合同ステージという予定になっている。
大町さんがプロデュース担当
「ジョイ・コン」は、ボニー側がT₂の大町さん(三五)、稲グリ側は土屋チーフパトリ(四四)

87第六回OB四連までの活動日程

- 3月 毎火曜日、通常練習(以下同) 18:30-21:00 東混
- 4月 初旬頃「楽お花見会」 夜・千鳥ヶ淵公園
- 5月9日(土) 「現役六連」サントリーホール
- 10日(日) 「」東京文化会館
※以後、臨時練習を予定します。
- 6月7日(日) 「遙祭」特ステ(全日) 熱海市観光会館
- 20日(土) 「現役四連」サントリーホール
- 21日(日) OB四連・在京メンバー 「合同練習」
- 27日(土)~28日(日) 「稲グリ強化合宿」 河口湖・合唱ロジ「コニシ」
- 28日(日) OB四連・在阪メンバー 「合同練習」
- 7月12日(日) 「第六回東西OB四連演奏会」 ザ・シンフォニーホール

がそれぞれ担当する。すでに、三月六日の深夜、土屋チーフパトリと頼原マネが大町邸を訪問し、選曲等を開始している。コンサート全体を、楽しく親しみのあるものにしたという方向で内容を決め込む予定で、特に、合同ステージはこの趣旨を生かして、みんなが楽しんで歌えるものにし

第六回OB四連曲「月下の一群」曲想作りに入りました

チーフパトリ 土屋 信吾(四四)

今年一月の末に、大阪稲グリの創立記念演奏会を終え、七月の第六回OB四連に向けて「月下の一群」の練習を開始して早や二ヶ月が過ぎました。毎回、練習出席者が比較的安定して揃うこともあって、予想以上のピッチで譜読みが終わり、現在は曲想作りに入っています。

元氣の出る指揮者・山本君(五八)を迎え、メンバーが今、大いに認識を変えなければならぬこととは、従来の曲作りと相違があるという事です。従来の稲グリの練習は、まず徹底的に音取りをして、それから曲想に入っていくきましたが、今は音取りと同時に曲想を作っているのです。メンバー諸兄にはこの相違を心して練習に对应していく必要があります。そうしないとい、指揮者の四連ステージに臨む意図を十分に生かし切れないうでしよう。本番ステージで泣くも笑うもこのことにかかっていると思えます。

合同練習開始!
さて、三月後半からは、四連合

たいとしている。候補として挙がっているのは、「幸福の黄色いリボン」「アバのナンバー」「フェルナンド」等々、稲グリメンにもなじみのあるものを中心にならっている。今後、大町さんの方で早めに煮詰めて稲グリに提示される予定。

同曲の練習も入ってきました。福永陽一郎氏の指揮で全四曲です(本号二頁参照)。この練習は同時に十一月一日(日)に予定している稲グリ、ボニー・ジャックスの「ジョイント・コンサート」(日本青年館)のステージ用でもあり、この中の三曲(ニグロ、シーシヤンティ)に別の三曲を加えて稲グリのステージにする予定です。四連合同ステージ全四曲のうち、稲グリメンバーにとって二曲は新曲、一曲は編曲が違ふということ、譜読みが大変かもしれないので、これを楽しみに行っているファレンもいると聞いています。先に触れましたように、練習の進め方が違いますので間近になって出席するということもなく、今から極力顔を出してください。熱海の温泉付特ステも、「庄やもあなたを待っています。」

練習状況(?)

練習時間に間に合わず、「庄や」にだけ駆けつけるメンバーが増えている。十日(火)の練習後もB₂加納さん(二四)、T₁永井さん(四二)が駆けつけ三杯組。梅チユーハイに酔った会長がワメク。「フォーイ! 今日練習は何人? ナニーツ、庄や駆けつけ組を入れて四十一人? 何てえザマだ、ファックション。あんな、パトリはどこ行った? ナニーツ? トイレ? ウーイ。人集めはセーグアイにやれちゅーに。ヨレンで負けたらショーチせんけんね、もう。ウーイ。」

加納さんも負けずに叫ぶ。「ヒッ! ワシなあ、ホーリン・ワシやったもんね。忘れもしない先週の六日(先週のことなんか忘れないツーに)、大厚木CCアウトの東六番、一五五m、六番アイアの、ヒッ、六づくしじゃもんね。ゴルフ始めて三十四年目の感激! オーイ、オーイ、ヒッ(泣いて)。ワシこれを言いにここにきたもんね。」

永井さんもヤッパリもつれる。「またオレ作曲しちゃったよ。なあ! なあ! オレ、これを見せにここに来たもんね。」

やがて十時半の「玉崎時間」。

《出席状況》

	2/17	24	3/3	10
T ₁	10	10	11	8
T ₂	11	8	5	8
B ₁	10	9	8	9
B ₂	10	10	15	16
	41	37	39	41



第6回
OB四連

各団、演奏順、曲目決まる

稲グリはトップバッター!

OB四連マネージャー会議

「大阪稲グリ有田事務局長(四一)十五日」去る三月七日(土)、大阪梅田のレストラン「ちぎり」でOB四連マネージャー会議が開かれ、各団の担当マネ九名が出席、七月一二日の第六回OB四連についての具体的打合せが行われた。

会は、今回幹事担当のクローバークラブの進行を進められ、出演順、曲目、合同演奏曲、同指揮者、予算組み等々の事務事項が検討、決定された。また、会議では、OB四連がアマ合唱団の最高の演奏会となることを目指すとともに、二年に一度の再会が実りあるものになるよう互いに全力を尽くして

頑張ることを総意をもって確認した。これで演奏会の概要が決定されたので、残る三ヶ月を各団とも本腰を入れて活動することとなる。

《出席者》敬称略

- クローバー 西村(四九)
- 伏村(五一)
- 森島(五三)
- 村田(三九)
- 亀井(四四)
- 内田(三九)
- 森田(四〇)
- 阿部(四一)
- 有田(四一)

◆演奏順及び曲目

- ①稲門グリークラブ 「月下の一群」 指揮 山本 正洋
- ②新月会 ベートーベン「第九」第四楽章 指揮 小池 義郎
- ③慶応ワグネルOB 「ジプシーの歌」 指揮 畑中 良輔
- ④クローバークラブ 「セブン・ビートルズ・ナンバース」 指揮 山下 裕司
- ⑤合同ステージ 「思い出のコレクション」 指揮 福永陽一郎

早春恒例の催しとしてすっかり定着した観のある岡村喬生先輩のシニールベルト「冬の旅」バス・リサイタルは、流石に固定ファンも多く、今年も二月二八日、東京文化会館小ホールを満席にして開催された。

岡村喬生「冬の旅」——ご機嫌の出来

アンコール四曲も!

B² 横尾 正稔 (三七)

数多く、また、地方勤務とかで久しく顔を見なかつたグリーの仲間が東京に転勤になったばかりだといつて現れたり、華やいだ中にも和やかな雰囲気心地よい。毎年個性的なピアノ伴奏者を次ぎ次ぎに交えての演奏の趣向も、今年の渡辺康雄氏は私は初見参な

でてきてみると、予想外に控え目な中にも繊細なタッチでピアノをよく歌わせ、独唱者を引き立てていたのは見事だった。この「冬の旅」を聴いていつも感じるのは、様々な冬の情景を、内にあふれる想いを抑制をきかせつつ、ドイツ語の抑揚を通して表

から、プログラムの紹介写真の柄でヒゲを生やした姿から、一体どんなダイナミックなやりとりになるのかと興味津々だった。それがいざ去年にも増して順調な歌い出しの中で、最初の内こそピアノのタッチに可成り緊張がうかがわれたものの、次第に余裕が

現するための声のコントロールの難かしさなのだが、岡村さんは今年には体調も、また、声の調整も万全にうまくいかれたのだろう。殆ど破綻らしいものがないヴォイス・コントロールのもと、深い声で見事に歌い上げられた。岡村さん御自身、今年はこの演奏会への調整に成功されて満足感があつたのではないだろうか。いつまでも鳴り止まぬ拍手にこたえて、如何にも気持ち良さそうに四曲もアンコールを歌われるサーブス振りだった。こちらは何となく幸せな気分が家路についた次第。どうか今後も精進され、立派な歌を通じて人に感動を与え続けて下さるようお願い申し上げます。



◆合同ステージ演奏曲

- * SHENANDO
- * 夕やけの歌
- * LIST TO THE LAMBS
- * HE'S GOT THE WHOLE WORLD IN HIS HAND
- * 秋のピエロ(「月光とピエロ」より)

ボニージャックス
コンサート
4月1日(水)
五反田・ゆうぼうと簡易保険ホール
開場6時PM 開演6時30分PM



主催 (株)ニュー西北エンタープライズ
後援 ビクター音楽産業(株)
協力 ゆうぼうと
前売り 都内各プレイガイド
S=3,500円、A=3000円
問合せ 03-239-0309
(株)ニュー西北エンタープライズ

ボニーからの手紙

少しずつ春めいてまいりました。OBの皆様方には、ますますお元氣でお過ごしのことと存じます。さて、来る四月一日、久しぶりに「ボニージャックス・コンサート」を開催いたします。エ・イプリル・フルにふさわしく、全く肩の凝らない演奏会にしたいと思っておりますので、是非お出かけ下さい。お待ちしております。

ボニージャックス

あなたの「同期への一声」が財政安定に!

会員増加にご協力を!

会計 石原 祥弘(三五)

稲門グリーの活動は、昨年の台湾演奏旅行、第二一回定演、今年に入って大阪稲門創立三十周年記念演奏会等、国内外を問わず大変活発化しています。また、今後の活動も、七月の第六回OB四連、十一月のボニージャックスとのジョイントコンサート、十二月の第六回クリスマス、そして六三年七月にサントリーホールで開かれる第二一回定演、とスケジュールはギッシリです。昨年の定演以後は、毎週火曜日一八時半〜二一時の定例練習には

常時四十名以上が、そのあとの居酒屋一庄や四谷三丁目店での息抜き会にも同様に二十名を越す出席者へ中にはここにしか来ないメンバーもいますが、随所で最近の稲グリーの盛り上がりを感じられます。と、稲グリーの活動の財源が主として、①会員からの会

費収入、②演奏会等の収益に頼っていることは、ご承知の通りです。このうち会費については、年額A会員一万二千円、同B会員三千円となつていますが、最近はやまさんコーラスでも月額二千五百円から三千円へ年額三万円から三万六千円へあたりまえになつています。

「会費」は是非銀行振替で! 毎月発行している稲門新聞の製作費は、頁数にもよりますが、一部五十〜八十円になり、郵送料六十〜七十円を加えると、新聞関係費だけで一人年間二千元位はかか

ついでに、赤字にならないでこれまで運営できたのは、指揮者・練習ピアニスト等の謝礼を支払わなくてもよい、銀行の自動振替による会費収入分が確実に入る、その理由があげられます。が、その一方で幹事会等の会費、特ステ等に要する交通費は、原則的にかなり個人の負担をしいている部分があることも見逃せません。しかも、昨年度の一般会計の収支(別表I)を参考にしますと、今期の十二月号から二月号までの三ヶ月間の活動経費の推移から見ると、新聞関係費が年間八十万円近くかかる見込みで、これに通信費、練習場費を加えた三部門の支出で、会費収入は相殺されてしまっています。また、今後の活動で、大阪でのOB四連、来年七月のサントリーホールでの定演は、旅費(交通費・宿泊費)、会場費等かなりの出費が予想されます。そのための、今から財政基盤をしっかりと確立しておく必要があり、別表IIで総計(会員名簿に記載されている人)に対し、会員数が少なく、未加入、会費切れの多い年次に重点をおいて、各年度幹事は積極的に会員増加をはかっていかれるよう、お願い致します。

早大グリーOB会 「会費規定」

A会員(稲門グリー活動が可能な会員) 会費 年額 一二、〇〇〇円 B会員(遠隔地等のOB) 会費 年額 三、〇〇〇円

「銀行振込先」 三菱銀行日本橋支店 (普)四六一三九五四 稲門グリークラブ 石原 祥弘

「新規会員登録のための銀行自動振替用紙等の送付先」 番二七三 船橋市印内 二一一二一一〇一四〇八 石原 祥弘

「石原連絡先」 公宅 〇四七四一三四一〇五三七 勤務先 〇三二六六七一〇一八八

[別表I]

61年度一般会計

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Includes items like 会費収入 (1,665,900), 新聞・封筒等印刷費 (547,600), 通信費 (430,840), 練習場費 (437,800).



[別表II]

早大グリーOB会・稲門グリークラブ

会員数一覧

62年3月5日現在

Table with 7 columns: 卒年(昭), 年度幹事, 年度総計, A会員, B会員, 登録者計, 未登録. Lists members from 1942 to 1961 with their respective counts.

※1()内は自動引落し者

※2()内は大阪会員

桜楓合唱団

昨定演ステーションがCDに!

アマ合唱団初か

ビクターから

三月二十一日発売

桜楓合唱団高仲外務マネージャによる、昨年十月の同合唱団第十七回定演のステーションのうち、林光氏作曲の「いつも風、流れる川」...



お問合わせは左記へ。桜楓合唱団外務マネ・高仲 和子

四年間の

「グリーンライフ」を終えて

六一年度部長 関 達朗(六二)

この四年間を振り返ってみると、私の大学生活はほとんどグリーン色で...

活だつたようですが、全体的に見てグリーンでの四年間は、私にとつて決して無意味ではなく...

稲グリ新聞

記事募集!

先号(四三号)の四面に掲載しました「稲グリ異人伝」のように、

卒団生最強

「東京キャスター」

早稲田奉仕園でお別れ演奏会

演奏旅行等々で大活躍をしていた卒団生のカルテット「東京キャスター」が、卒団に当たって三月二十八日(土)午後六時から早稲田奉仕園でお別れの「演奏会」を開く...

カルテットもタダ者ではないという。演奏曲目、得意ワザ等不明ではあるが、きつと楽しませつつも「ウーム」、「オロツ」と感じさせてくれることを期待したい。

できました。グリーンは私達部員にとつてもうひとつの家のようなものなのかも知れません...



東京カルテット

編集後記

七月の大阪でのOB四連、合同演奏の指揮は、現役が十年來お世話になってきている福永陽一郎氏...

以下二編はS編集子が歌う「月下の一群」... 私は原稿用紙の山が見える目を閉ざすと...

春は出会いの季節、素晴らしいことへの予感が！新メンバー大歓迎です。そろそろ桜の季節。というこ...

三月十六日午前三時。E